

平成28年度第9回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 平成28年9月6日（火） 13：15～16：20
- 2 場 所 3号館8階教育委員会室
- 3 出席者 <教育委員会>
雪村教育長 森本委員 梶木委員 伊東委員 大塚委員 福田委員
<事務局>
林教育次長 岡田スポーツ担当局長 稜野総務部長
川田指導部長 日下社会教育部長 後藤教育施策推進担当部長
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 2名
- 6 会議内容

（雪村教育長）

それではただいまより、教育委員会会議を始めます。

本日は、議案6件及び報告事項3件です。このうち教第31号議案については教育委員会会議規則第10条第1項第2号により、職員の人事に関する事。教第29号議案については教育委員会会議規則第10条第1項第3号により、長の作成する議会の議案に関する事。教第30号議案については教育委員会会議規則第10条第1項第5号により、訴訟または不服申し立てに関する事。教第34号議案、報告事項1及び報告事項3については、教育委員会会議規則第10条第1項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして非公開としたいと思いますが、御賛同いただけますでしょうか。

（6名の賛成により非公開案件を決定）

（雪村教育長）

それでは、教第32号議案、平成29年度使用神戸市立高等学校の教科用図書の採択の件について、指導課より説明をお願いします。

教第32号議案 平成29年度使用神戸市立高等学校の教科用図書の採択の件

（大谷指導課長）

資料は、第32号議案鑑文が表紙となっているものと、青いタグがついている別冊、それからもう1つ、赤いタグがついている教科書抜粋資料があります。

7月の教育委員会会議で審議いただく予定にしておりましたが、各校で6月に実施した教科用図書の選定について、8月に再調査及び改めて選定委員会を行うことを指示し、本日の教育委員会会議で審議いただくことになりました。これらの経緯について説明します。

各学校では、例年どおり5月以降に教科用図書の調査研究及び選定委員会が開かれ、平成29年度使用の教科用図書について、6月に指導課へ申請書が提出されていました。しかし、大修館書店が同社の英語教科書を採用した高等学校に教材を無償提供していた問題で、6月28日に文部科学省から情報提供を受け、調査した結果、神戸市立科学技術高等学校で、平成26年度から平成28年度にわたって、英語副教材の無償提供を受けていたことがわかりました。

この問題を受け、文部科学省は高校の教科用図書を発行している教科書会社全39社に対し、同様の案件に加え、教員に対する金品の授受がないか調査を実施しました。この調査の結果、7月25日に県教育委員会を通じて「神戸市立高校においては該当なし」と連絡が入りました。

調査結果も受けて、慎重に審議した上で採択が行われるよう、文部科学省から通知されていることを踏まえ、全市立高校に対し、改めて厳正に教科用図書の再調査及び選定委員会を行うことと、申請書を再提出することを求めました。

それでは、高校の教科用図書の採択の流れ等について説明します。

資料1ページは、既に4月12日の教育委員会会議で承認いただいた平成29年度使用教科用図書採択要領です。2番、採択の手續の(2)高等学校及び特別支援学校高等部の欄の2行目にある「毎年自校の教育課程に則した教科用図書を選定し、教育委員会に申請する」という部分を受けて、本日審議いただきます。

資料2ページでは、採択の流れを図に示しています。左上の①採択要領の決定については4月12日の教育委員会会議で採択要領の決定をいただきました。その後、②採択要領の通知を各学校に行いました。これを受けて、各学校で選定作業を行いました。

その下の中央のところどころに四角で囲まれているところにあるように、各学校では校長を委員長として、各教科の教員や保護者の代表で構成する教科用図書選定委員会を設置し、教育課程等に則した教科用図書の調査研究と選定作業を行い、申請資料を作成しました。

現在は、③の申請を受け、本教育委員会会議での採択決定の段階である④となっています。

資料3ページには、採択の日程を記載しています。本日の教育委員会会議での承認後、各学校において購入する教科用図書の冊数、いわゆる需要数を教育委員会事務局に報告する準備に取りかかります。

資料4ページは、教科用図書の展示会の状況です。教科用図書の展示は、6月17日から14日間実施し、83名の方が閲覧されました。一番下の段の②は過年度の閲覧者数です。平成22年度、平成23年度、それから平成26年度、平成27年度はふえていますけれども、これは小中学校の教科用図書の採択の年となっています。

次に、青いタグのついた別冊「平成29年度使用 神戸市立高等学校教科用図書に関する申請書」をごらんください。

六甲アイランド高校から楠高校まで、全10校から提出された申請書です。

内容項目について、六甲アイランド高校を例に説明します。

六甲アイランド高校では、1ページの国語から10ページの福祉までの教科用図書を選定しています。昨年度採択したものと同一教科用図書を平成29年度も使用する場合は、県への報告書の記載に合わせて、表の右端にある選定・変更理由が空欄になっています。新たに選定、あるいは変更したものは、その理由が書かれています。なお、昨年度は1年生用の教科用図書を中心に検討が行われたため、各校からの申請は1年生に多く変更が見られます。

以下、同様に各校から提出された教科用図書の一覧が続いています。

それでは、各校の申請の中から幾つか取り上げ、丸山首席指導主事より説明します。

(丸山指導課首席指導主事)

申請があった教科用図書は、10校で延べ540冊、313種類になります。本日は、各校から1点ずつ取り上げて説明します。

まず、六甲アイランド高校が選定した教科用図書について、申請書3ページ32番、理科、生物の欄をごらんください。右端の選定理由が空欄になっており、今年度に引き続き、来年度の2年生についても同様の教科用図書が選定されています。

前年度の選定理由は、「図版が大きく写真の量も豊富で、本校生徒の興味・関心を高めるのに適している」、また「探究活動のページも身近なもので実験できるよう工夫が凝らされている」というものでした。今年度使用した結果、前年度の選定理由に加えて、「自分の考えを表現し説明する学習が設定されていること」などから、来年度も同じ教科用図書を使用することとし、選定しています。

担当主事より、具体的な内容について説明します。

(金生指導課指導主事)

生物は、4種類から選定しています。教科書抜粋資料1ページです。細胞の構造について、電子顕微鏡で観察した写真とともに、模式図が多く描かれ、細胞の構造が一目でわかる工夫がなされています。

教科書抜粋資料2ページは関係のページとして、身近なもので実験できる例を取り上げており、パン酵母を使った組み換えDNAの実験について取り上げています。仮説や考察など、探究活動に結びつくような工夫がなされています。

教科書抜粋資料3ページには、進化の仕組みについて、左下の図1や図2のように、簡単な工作で架空の生物種をつくり、実験することで考察しています。進化の仕組みについて、みずから発見し学習できるよう工夫がなされています。

以上のような観点から、この教科用図書を選定しています。

(丸山指導課首席指導主事)

次に、申請書13ページ、葺合高校の申請です。

35番、外国語、コミュニケーション英語Ⅱをごらんください。選定理由として、「単元テーマが生徒の興味を引くものが多いこと」、また、「自分で考えを表現する言語活動の学習が用意されていること」が挙げられており、教科用図書を変更する理由とされています。

文部科学省のスーパーグローバルハイスクールの指定を受けている当該校として、普通科の生徒の英語教材においても、発表や話し合いを中心とした授業を意識して選定しています。

(橋口指導課指導主事)

コミュニケーション英語Ⅱは、9種類から選定しています。

教科書抜粋資料4ページの目次をごらんください。環境、医療、テクノロジー、現代社会が直面する問題など、多様なトピックが取り上げられています。

続いて、教科書抜粋資料5ページでは、国境なき医師団に参加した医師の経験を通じ、紛争、医療、国際交流など、さまざまなテーマについて考えることができる題材となっています。

教科書抜粋資料6ページ右下のリード・フォー・オン・ソートのコーナーでは、本課の中心的なテーマについて賛否両論について考え、ディベート活動につながる設問がなされています。

教科書抜粋資料7ページ右側のアクティビティーズのコーナーでは、本課の題材内容に関連した発信型の創造的な言語活動が設定されています。

以上のように、題材のテーマが興味深く、またみずからの考えを発表し、議論する言語活動ができるよう工夫されている点を評価し、選定しています。

(丸山指導課首席指導主事)

次に、申請書の16ページ、科学技術高校です。

13番、コミュニケーション英語Ⅰをごらんください。副教材無償提供の問題で指摘のあった教科用図書ですが、「中学校英語から高校英語へのスムーズな移行ができるよう構成されていること」や、「身近な物事や人物を扱うことで生徒の興味・関心を引くことができる」など、当該校の生徒にとって最も適切な教科用図書であるとして申請が上がっています。

(橋口指導課指導主事)

コミュニケーション英語Ⅰは、9種類から選定しています。教科書抜粋資料8ページ左側、レッスン1の本文では、比較的短い英文が配置され、中学校とのスムーズな接続が意識されています。また、右側のアンサー・イットのコーナーではパートの内容に関する英語の質問、フォーカス・オン・イットのコーナーでは重要文法事項、チェック・イットのコーナーでは演習問題、ユーズ・イットでは応用的言語活動が配置されています。文法事項についても、中学校既習事項の確認から始め、レッスンが進むにつれ、より高度な内容にスムーズに移行できるよう工夫がなされています。

続いて、教科書抜粋資料9ページから10ページには、各レッスンの終わりのレビューのコーナーで復習問題を、プラクティスでは活用問題、エンジョイ・コミュニケーションでは複数技能を総合的に学習できる活動が配置されており、既習事項の確認や発展的な学習ができるよう工夫がなされています。

教科書抜粋資料11ページでは、日本の伝統的な衣装である着物を取り扱い、海外における着物の評価や、どのように受け入れられているかなど、日本文化と世界とのかかわりについて英語を通じて学び、話し合うことで自分の意見を表現できる工夫がなされています。

以上のように、英文の文章量や既習事項の確認といった面で、中学校英語からのスムーズな移行ができる点や、興味を引く内容で学習を深めていくことができるよう工夫されている点を評価し、選定しています。

(丸山指導課首席指導主事)

続いて、申請書25ページ、神港橋高校です。

26番、プログラミングをごらんください。本校は、2年生から生徒の希望により会計類型と情報類型に分かれて専門的な学習を行います。この教科用図書は、情報類型の中でもシステム開発の学習を希望している生徒を対象に選定されています。

(河野指導課指導主事)

プログラミングは、2種類から選定をしています。教科書抜粋資料12ページをごらんください。オブジェクト指向プログラミングの基本でありながら、つまずきやすいクラスの考え方などを、役者に演技をさせるように幾つものクラスを働かせながら、目的の処理を行うイメージを、右下の図などでわかりやすく表現し、理解を促す工夫がなされています。

教科書抜粋資料13ページでは、円ドル換算を行うプログラムが例題として示されています。入出力イメージや処理条件、あるいは問題の考え方などが段階的に示されており、プログラミングを用いて課題を解決するための一連の流れを習得する工夫がなされています。

続いて、教科書抜粋資料14ページをごらんください。今までのプログラミング教育では、学習するプログラミング言語特有の命令や構造の習得、つまりコーディングスキルの習得が重視されている傾向にありました。今日的なコンピューターの利用においては、操作性を向上させるため、G U I (グラフィカルユーザーインターフェイス)を通じて、さまざま

まな情報の入出力をすることが一般化しています。この教科書では、全体の3分の1のページを割いて、このG U Iの構築とともに、音声や画像などさまざまな情報が取り扱われており、生徒が興味を持って学べる工夫がなされています。

以上のような観点から、最新プログラミングの教科書を選定しています。

(丸山指導課首席指導主事)

次に、申請書28ページ、神港高校です。9番マーケティングをごらんください。選定理由として、写真やイラスト、図表などの資料がわかりやすく配置され、各種検定へもつながる内容となっていることが挙げられています。

(金生指導課指導主事)

マーケティングは、2種類から選定しています。教科書抜粋資料15ページをごらんください。消費者のニーズは絶えず変化します。「市場調査の重要性や手段を学習します」とあるように、各章の初めにその章で学ぶ内容と目標をまとめてあります。また、各章末において、重要な内容について練習問題を設けて、基礎的・基本的な知識・技能習得のための工夫がなされています。

教科書抜粋資料16ページをごらんください。実際に生徒が実習として取り組む市場調査では、仮説の立案から始まり、文献調査、ヒアリング調査、インタビュー調査という調査方法について学びながら、顧客とのリレーションシップを深めることの重要性について、問題解決的な学習ができるように設定されています。

教科書抜粋資料17ページをごらんください。企業の社会的責任について、環境に対する企業の行動として、自然の枯渇問題対策や地球温暖化対策などを取り上げ、現代の社会におけるマーケティングについて学ぶ意欲を高め、探究する力を育む工夫がなされています。

以上のような観点から、この教科用図書を選定しています。

(丸山指導課首席指導主事)

続いて、申請書29ページ、兵庫商業高校です。

12番、経済活動と法をごらんください。今年度に引き続いて、来年度の3年生についても、同じ教科用図書を使用します。前年度の選定理由として、「法律用語は生徒にとってなじみの薄い言葉が多いが、本教科書は生徒の興味を引く内容を取り扱っている」というものでした。1年間使用した結果、前年度の選定理由に加えて、「問題解決的な学習と系統的な学習がバランスよく配置されていること」などの理由から、来年度も同じ教科用図書を使用します。

(金生指導課指導主事)

経済活動と法は、2種類から選定しています。教科書抜粋資料18ページには、契約の無

効と取り消しの説明について具体的な例を図で上げており、その違いなどが理解できるように工夫がなされています。

教科書抜粋資料19ページでは、契約の成立についての説明があり、申し込みの意思と相手の承諾の意思を表示してあり、合致したときに成立すると図で示しています。このように、生徒にとって理解しやすいよう工夫がなされています。

また、教科書抜粋資料20ページでは、契約の効力について、停止条件、解除条件、確定期限、初日不算入の原則等、生徒にとってなじみの薄い言葉について図で示すとともに、右側欄外の補足説明では、満期日の解説として具体的な例が示してあり、興味を引く内容となっています。

以上のような観点から、この教科用図書を選定しています。

(丸山指導課首席指導主事)

次に、申請書35ページ、須磨翔風高校です。

49番、社会福祉基礎をごらんください。当該校では、福祉マインドを学校のカラーとして位置づけ、専門的な福祉教育だけではなく、幼児や高齢者への配慮など、生活の中で役立つ福祉の学習を推進しています。「単元や教材の分量、配列、程度が適正である」などの理由から、来年度も同じ教科用図書を使用します。

(橋口指導課指導主事)

社会福祉基礎の教科用図書は、1社から1種類のみ発行されています。教科書抜粋資料21ページから22ページの目次をごらんください。社会福祉の意義や歴史、社会保障制度など、福祉に関するさまざまな分野の内容が網羅的に系統立てて取り上げられています。また、各項目においては、基礎的な内容から、より深い学習に発展が可能な構成となっています。

教科書抜粋資料23ページの各グラフ及び右下のワークシートでは、取り上げられたテーマに関し、現代の課題をグラフや表などのデータを読み取り、ワークシートを用いて考察し、学習を深めていけるよう工夫がなされています。

教科書抜粋資料24ページ下部の図1、図2では、生徒にとって全体像がつかみにくい制度や手続の流れなどが、フローチャート等を用いて、視覚的にも理解しやすく図解されています。

以上のように、多岐にわたる内容が系統的に整理され、学習を深める工夫がなされている点及びグラフや資料、図等を用い、福祉に関する諸課題について深く考察したり、話し合ったりできる工夫がなされている点を評価し、選定しています。

(丸山指導課首席指導主事)

次に、申請書40ページ、神戸工科高校です。

37番、電力技術をごらんください。「発電の原理から送電の方法まで理解しやすく記述されており、練習問題も適切に配置されている」という前年度の理由に加えて、「目標やまとめが明確で、反復学習や練習問題による繰り返し学習が充実している」などの理由から、同じ教科用図書を選定しています。

(河野指導課指導主事)

電力技術は、2種類から選定しています。教科書抜粋資料25ページの左側の図1、電力の発生から消費の流れでは、平易に表現された大きな図版により、複雑で見えにくい電力現象の仕組みを把握しやすい工夫がなされています。

続いて、同じページ右側の表4では、新しい発電方式の特徴では、個々に学んだ太陽光発電や風力発電などの特徴や適用分野、導入実績などがまとめられており、優劣などを比較することにより、生徒の理解を促す工夫がなされています。

教科書抜粋資料26ページをごらんください。各章での学習内容の要点が簡潔にまとめられており、各文章の後ろにある括弧内のページを見ることで、学んだ内容を振り返ることが簡単にできる工夫がなされています。

教科書抜粋資料27ページをごらんください。章末には、基礎的・基本的な問題と発展的な問題が、それぞれ記号A及びBで示されており、Aの問題では、述べよ、説明せよ、など話し合いや論述を中心とした言語活動が取り入れられ、思考力、判断力、表現力を育む工夫がなされています。またBの問題では、計算問題を中心とした論理的、発展的な問題で構成され、電検3種や電気工事士などの資格取得も視野に入れるなど、学ぶ意欲を向上させる工夫がなされています。

以上のような観点から、電力技術Iの教科書が選定されています。

(丸山指導課首席指導主事)

次に、申請書41ページ、摩耶兵庫高校です。

5番、数学Iをごらんください。「生徒にとって、基礎・基本の定着を図ることができる問題のレベルや分量になっていること」、また、「動機づけに有効な工夫がなされていること」などが選定の理由となっています。

(金生指導課指導主事)

数学Iは、9種類から選定しています。教科書抜粋資料28ページをごらんください。式の展開の単元では、公式ごとに例題と練習を設けて、中学校で学ぶ問題も取り上げ、復習しながら、高校で扱う式の展開に発展していく工夫がなされています。

教科書抜粋資料29ページの展開、因数分解の工夫の単元では、例題に対する練習問題は2題しかありませんが、ほかにも応用できる代表的な式の変形を取り扱っています。

教科書抜粋資料30ページ、図形と系統の導入では、壁の向こう側に飛んだ紙飛行機の飛

行距離を求めるにはどうすればいいかという題材を取り上げ、三角比の考え方の動機づけに工夫がなされています。

以上のような観点から、この教科用図書を選定しています。

(丸山指導課首席指導主事)

最後に、申請書45ページ、楠高校です。

3番、現代社会をごらんください。「基本的事項を重視した構成で、読みにくい漢字にはルビを振るなどの工夫がなされていること」や、「日常生活と関連させ、考える姿勢の育成を図ることができる」などの理由で選定されております。

(金生指導課指導主事)

現代社会は、7種類から選定しています。教科書抜粋資料31ページをごらんください。この教科書は、説明文の漢字にルビを振り、また重要な語句は字体を変え太字で強調されています。説明の文章だけでなく、色彩豊かな図を示すことで、理解しやすいよう工夫がなされています。

教科書抜粋資料32ページは課題学習のページです。就職について取り上げ、仕事につくことと、これに伴って得られる権利や責任について考え話し合う場が設けられ、自分の考えを表現する学習が設定されています。

以上のような観点から、この教科用図書を選定しています。

(丸山指導課首席指導主事)

以上、各校より申請のあった教科用図書を取り上げて説明しました。

平成29年度使用神戸市立高等学校の教科用図書について説明を終わります。

(雪村教育長)

それでは、平成29年度使用神戸市立高等学校の教科用図書の採択の件について、いかがでしょうか。質問や意見をいただきたいと思います。

(森本委員)

説明されていた教科書をずっと見せていただいた感想ですけれども、義務教育の学校の教科書と感じが似てきましたね。例えば、本の大きさや色合い、それから説明の仕方とか、疑問の投げ方です。それが非常に近くなってきたという印象がありますけれども、事務局としてはどう思われますか。

(丸山指導課首席指導主事)

中学校との接続ということも、かなり意識されてきていると思います。図版や色合いが

非常に多彩になったと思います。以前は白黒で文字が多かったように思いますけれども、中学校を卒業した子供たちがなじみやすいように配慮がなされていると感じています。

(森本委員)

教科書の様子が変わってくると、それに伴って、授業の形態も当然変わってくると思います。義務教育の学校の授業の形態は随分と変わってきていますね。高等学校では、そういう傾向は見られますか。

(丸山指導課首席指導主事)

次期学習指導要領に向けて、話題になっているアクティブラーニングなど各教科でさまざまな研究や研修がなされています。先生がしゃべって生徒がノートをとる、ということではなく、話し合い活動が非常に多く取り入れられてきているのも事実です。

そういった意味で、従来とは違った授業のあり方、あるいは電子教科書の導入なども、今後考えていく必要があると思います。

(森本委員)

あと、子供から見て、市立の中学校から行った場合に余り違和感がないと思いますけれども、県下全域ではどうですか。市立高校を選ぼうとしているものと教科書の様子は余り変わらないですか。

(丸山指導課首席指導主事)

まず、冒頭に申し上げたように、多くの種類の教科書から各高等学校の狙いに合わせた教科書が選定されていると感じています。今回、市立高校の教科用図書の説明をしたわけですが、県立高校の教科書採択においても同様です。また、中学校との接続という点でも大きく変わることはないと思います。

(森本委員)

教科書が本当に義務教育の教科書に似てきたという感じがしました。子供も学びやすいと思います。高等学校の先生方はきっと中学校の子供たちの情報もとっておられると思いますけれども、授業改善が進んでいくと思いますので、そういう点に期待をしたいと思います。教科書も重要になってきます。

あともう1つ、前回予定をされていた採択の事務ですけれども、一定の期間おくれて、事務局から高等学校に指示をされたと思いますが、主な指示の内容と、それから、それぞれの学校の反応がわかりましたら、教えてください。

(丸山指導課首席指導主事)

6月に受領した申請書は一旦リセットをかけることを、臨時校長会で申し上げました。各校の校長に対しては、公正な選定が必要であること、責任のある選定、きちんと説明ができる選定をしていただきたいというお願いをしました。

その上で、各学校において8月に再度、選定委員会を開いていただいています。

教員の反応としては、「もう一度、確認の意味も含めて、きちんと再選定をします」という声をいただいています。また、選定委員会の保護者代表の方は「最近は使いやすくなりやすい教科書になりましたね」という感想や、教科書選定に当たっては、多くの教科書から選ぶ作業が伴いますので、「先生方の御苦勞が再度理解できました」という御意見もいただいています。

(森本委員)

ありがとうございました。

(雪村教育長)

そのほか、いかがでしょうか。

(梶木委員)

価格がそれぞれ違いますね。そのあたりも加味して選んでおられるのですか。教科書の料金的にはどれぐらい幅があるものなのでしょうか。高校になると義務教育ではないので、保護者の負担額が結構上がってくると思いますけれども。

(丸山指導課首席指導主事)

高校教科書の場合は、1点ずつ価格が違ってきます。保護者負担という点では、できるだけ安価なものがいいわけですが、学校としてはまず、生徒のニーズであるとか、理解しやすいなどの点を大事にして選定しています。

学校によって保護者負担額は違いますけれども、全日制高校1年生で大体8,000円から12,000円、定時制高校では6,000円から8,000円ぐらいの間で幅があります。

(梶木委員)

全員が買いますね。

(丸山指導課首席指導主事)

そうです。

(梶木委員)

恐らく高校だと、これ以外に教科書を買ったら、教科書のワークブックとかドリルみた

いなものがついて、また別料金になるわけですね。それも含めて、教科書に合わせた副教材が使いやすいといったところも選定理由に入っているのでしょうか。

(丸山指導課首席指導主事)

基本的に、選定委員会は教科書を見て選定します。参考書などは各社から出ていますので、それら教材については採択が決まった後、各教科で決めるようになっています。

(梶木委員)

ということは、選定委員会では副教材は見ずに、教科書だけの情報でやっていただいているということになりますね。

(丸山指導課首席指導主事)

そうです。

(梶木委員)

わかりました。

高校では、たくさん買わされるイメージがありますけれども、ちなみに、副教材の金額はどれぐらいの保護者負担になっていますか。

(橋口指導課指導主事)

学校によって本当にさまざまで、全く副教材を買っていない学校もあります。一方で国語・数学・英語などで買っている学校もありますので、一言では申し上げられないです。

(丸山指導課首席指導主事)

額については本当にさまざまです。学年毎に異なりますし、いわゆる市販の参考書を使用せず、教師が手づくりのプリントなどを使って教科書を補足していくということもあります。具体的な金額はつかみ切れていませんが、授業形態によりさまざまです。

(梶木委員)

高校1年生は制服も変わりますし、いろいろと負担の多い時期なので、そのあたりも加味していただけたら、保護者の方にはいいのかなと思います。

(丸山指導課首席指導主事)

工業高校などは、電卓であるとか、さまざまな参考書や専門書もふえてきますので、どうしても金額的には普通科よりも若干高くなる傾向があります。

(大塚委員)

教科書選定の問題にならないような気もしますが、一番気になったのはプログラミングの教科書です。当たり前ですが、言語自体も変わってきているし、十数年前とはさま変わりしていますよね。何を心配したかという、今の生徒がJ A V Aを習得する、これはすごくよくできていると思いますけれども、あと5年、10年たったときにJ A V Aがどうなっているのか。もっと言うと、昔、B A S I Cがありましたけれども、今となってはB A S I Cを使っている方は誰もいない。C O B O LとF O R T R A Nなんて今でも生きているのでしょうか。

(河野指導課指導主事)

2種から選定しているのですが、もう1つの教科書はC O B O Lを使っていました。今回はC O B O LとJ A V Aのプログラミングの教科書を比較して、最終的には「J A V Aの教科書だよ」となりました。時代背景的にも、J A V Aのほうが今は利用される場面が大きくなっている、それも加味されたものと思います。

(大塚委員)

要は、どの言語を習得したとしても、それで一生使えると思うなよということですね。だから、基礎の基礎を習得しておいて、だんだん変わっていったら、それは自分で学習するしかないと思いますけれども、それがどれぐらいできるのかですね。教える先生も大変だろうと思いますけれども、その意味では、C O B O LよりJ A V Aというのはよくわかります。けれども、逆に言うと、C O B O Lを使えという意味では全然ないですが、C O B O Lはもう40年、50年生きてきた。

そのあたり変化の激しい教科の場合にどう考えていくのか、何かお考えありますか。これは無理な質問ですか。

(河野指導課指導主事)

専門高校では、いわゆる即戦力という観点から、今の時代背景に合ったものを子供たちに習得させるという基本概念がありますので、そういったことも加味されたと思います。

中学校などのプログラミングの学習では、どちらかと言うと、プログラミング的思考を育むといった論理的思考が中心になります。言語を習得するというよりは、どういう構造になっているのか、どういう考え方をしたらいいのかということを学んでいく内容になっています。

高校では、実際にコーディングをする中で、プログラミングそのものを習得していくこととなります。

(大塚委員)

やはり専門高校だからこそ、基礎も大事だけれども、即戦力ということですね。ありがとうございます。

(雪村教育長)

そのほか、特にありませんか。

そうしたら、市立高等学校の教科用図書採択の件、承認いただけますか。

(6名の賛成により可決)

(雪村教育長)

ありがとうございます。

続いて、第33号議案、平成29年度使用神戸市立特別支援学校高等部の教科用図書の採択の件について、お願いします。

教第33号議案 平成29年度使用神戸市立特別支援学校高等部の教科用図書の採択の件

(本多特別支援教育課長)

平成29年度使用神戸市立特別支援学校高等部の教科用図書の採択の件について説明します。ご存じのとおり、特別支援学校における教科用図書には検定教科書、それから文部科学省の著作教科書、学校教育法の第9条の規定による一般図書の3種類があります。

検定教科書ですが、特別支援学校の高等部は、平成27年度に採択した検定教科書を使用いたします。生徒の発達の実態に応じて、下の学年の検定教科書も使用することができます。

文部科学省の著作教科書ですが、このたび著作教科書では各学校の高等部からの申請は含まれていません。

一般図書ですが、学校教育法附則第9条の規定で、「当分の間、教科用図書として使用することができる」といった内容が示されており、通称一般図書と呼ばれています。

別冊の1ページは、神戸市立特別支援学校高等部の教科用図書の採択の流れですが、先ほど高等学校でも同じ説明がありましたとおり、同じような選定作業を経て教科用図書が申請されています。

具体的に、盲学校の申請書をもとに説明しますので、2ページ目をごらんください。

まず検定教科書ですが、1行目、高等学校の新編国語総合の右側に丸検という字があります。これが検定教科書という意味です。2行目にも同じ名前の教科書がありますが、これは上の段の点字版になっています。平成29年度は、検定教科書を使用する予定の特別支援学校は盲学校と友生支援学校、垂水養護学校、青陽須磨支援学校の4校です。検定本に

関しては、高等学校に準じて、特別支援学校でも同じように調査を行っています。

次に、一般図書ですが、丸検の表記のない図書が全て一般図書になっています。例えば、上から7行目、「音と光の出る絵本 鳴らして遊ぼう童謡タンバリン」などがそれに当たります。実物がこちらになります。

(山田特別支援教育課指導主事)

こちらの図書について少し説明します。

幾つかの曲が入っており、この曲に合わせてこの部分をたたくと音が鳴るという仕組みになっています。曲に合わせて音も変わるようになっています。重複障害のある最重度の生徒にとって有効な図書となっています。

(実際に音を鳴らして実演する)

(本多特別支援教育課長)

なお、同じページの一番下の段のように、教科書名の横に「P16」といった教科書番号を表記している一般図書は、平成29年度使用一般図書一覧に掲載されているものとなっています。

教科用図書に関する申請は、2ページから13ページまでが盲学校、14ページから46ページまでが友生支援学校、47ページから53ページまでが垂水養護学校、54ページから57ページまでが青陽東養護学校、58ページから63ページまでが青陽西養護学校、64ページから最後の76ページまでが青陽須磨支援学校、以上の6校になっています。

その中から特徴的な教科用図書について1つ提示をさせていただきます。

資料75ページは、青陽須磨支援学校から上がってきているものですが、下から3段目、職業の教科のところ「働く」の教科書を新規に採用しています。今お手元に実物をお渡ししています。職業コースにおいて、就労を目指した学習を行うためのものとなっています。

青陽須磨支援学校では、毎年、各年度の生徒の実情に合わせた教科書を選定していますが、この教科書は、ほかの学校でも採用の実績がありました。内容が非常に好評だということで、このたび青陽須磨支援学校でも採用しており、同じく、友生支援学校でも採用しています。

ちなみに、青陽須磨支援学校においては肢体不自由の部門でも、知的障害の部門でも同じ教科書を採用しています。

(雪村教育長)

平成29年度使用神戸市立特別支援学校高等部の教科用図書の採択の件について、いかがでしょうか。

(森本委員)

最後に説明された本は「全日本手をつなぐ育成会」が編集されていますけれども、この団体が監修された教科書は初めてですか。知的障害の保護者の会の全国組織ですね。教科書を実際の保護者の方の目線で監修されていますが、これは初めての試みですか。それとも、既にやっていますか。

(本多特別支援教育課長)

既に採用している学校はあって、その内容を見て、このたび青陽須磨支援学校でも採用されたものです。

(森本委員)

監修が実際の保護者の方ですから、中身もいいですね。

(本多特別支援教育課長)

そうですね。

(森本委員)

学校間で他の学校でどんなものを使っているかといった情報交換はしますか。

(本多特別支援教育課長)

そういう場を設けているとは聞いていませんけれども、先生方はよくお互いをご存じなので、情報交換をする中でそういう情報が入ってきて、具体的に見て、「これはいい本だ」と判断されたのだと思います。

(大塚委員)

数が非常に多いですけれども、これは個々の生徒さんにとって、Aさんにはこれ、Bさんにはこれという形で選ぶのですか。

(本多特別支援教育課長)

そうです。想定される方がいて、その方のものとして選んでいますけれども、具体的に生徒さんが実際に入ってきてから、「この本を最終的に選びましょう」といった形で、そのお子さんに合ったものを一つ一つ、その中から選択をしていくということになります。

(大塚委員)

つまり、イメージとしては普通の学校だったら全員が同じ教科書ですけれども、この場合は違いますよね。

(本多特別支援教育課長)

そうです。

(雪村教育長)

そのほか、特にありませんか。

そうしたら、神戸市立特別支援学校高等部の教科用図書の採択の件、承認いただけますか。

(6名の賛成により可決)

(雪村教育長)

ありがとうございました。

続いて、報告事項2、平成28年度第3回保護者対象教育相談講演会及び個別面接相談について、総合教育センターよりお願いします。

報告事項2 平成28年度第3回保護者対象教育相談講演会及び個別面接相談について

(川並総合教育センター副所長)

報告事項2、平成28年度第3回保護者対象教育相談講演会及び個別面接相談について報告します。

10月4日土曜日に平成28年度最終回となる第3回教育相談講演会開催を予定しています。教員の方の参加もいただけるように、土曜日に設定しています。

午前中に講演会を行って、昼からは個別の面接相談12コマを定例のとおり設定しています。

講演会の内容は、「不登校の子供に寄り添う～家庭でできる具体的支援～」ということで、県立神出学園の園長先生である小林先生に講演をお願いしています。それから、昼からは個別面接相談、臨床心理士及び大学の先生をお願いしています。

次のページには、案内・広報等について記載しています。保護者には、学校を通じて配布したいと考えています。あと、その他の方向けに記者クラブへの資料提供、そして広報紙K O B E 10月号に掲載ということを考えています。

7番目に、参考として、今年度行った第1回目、第2回目の実績を掲げています。そのほか、今回予定している記者提供資料を参考につけています。

(雪村教育長)

この件について、いかがでしょうか。

(森本委員)

この事業は定着したと思いますけれども、個別の面接相談の希望者はもっと多いのではないですか。

(川並総合教育センター副所長)

毎回、60数件から70件近くの申し込みがありますけれども、12の枠をふやすのはなかなか難しいと思います。そのかわりと言ってはいけませんけれども、いつでも平日に行っている個別面接相談に参加いただくことができると案内しています。

(森本委員)

希望の方は平常時の分で吸収できるのですか。

(川並総合教育センター副所長)

はい。

(雪村教育長)

第1回、第2回の講演会の参加者は328名、348名とたくさんの方が参加されていますけれども、保護者の方ですか、教員の方ですか。

(川並総合教育センター副所長)

ほとんどが保護者の方で、休みをとって来られている方もあるかもしれませんが、平日ですから学校の先生は授業がある関係もあって、ごくわずかだと聞いています。

今回、土曜日に設定しているのは、実際に子供さんを抱えている学校の先生方も一度、不登校について聞いていただけたらということです。

(雪村教育長)

カウンセラーや教員といった専門職の方ではなくて、申し込みの方のほとんどは悩みを抱えておられる保護者の方だろうということですね。

(川並総合教育センター副所長)

アンケート結果を見ても、「よく理解できた」とか、「いろいろと身につまされたことがあった」という意見が大部分ですので、そういう方がほとんどだと思います。

(大塚委員)

アンケートでお聞きいただいているかどうかにもよりますし、リピーターという言い方がいいかどうかわかりませんが、新しい方とリピーターの方とでは割合はどうか。

(川並総合教育センター副所長)

数の上で、何割がリピーター、何割が初めての方ということは把握できていないですけども、リピーターの方が1割、2割はいらっしゃると思います。

(大塚委員)

ということは、ざくっとした話ですけども、大多数は新規の方ですね。

(川並総合教育センター副所長)

はい。

(大塚委員)

年3回開催して、300人以上が来られるということは、300人程度、あるいは200何十人が新規に来られる。それだけ新規の方がどんどん入ってくる。毎年ふえるからということですか。

(川並総合教育センター副所長)

新しい子供たちがどんどん入ってきます。やはり新しい環境でいろいろなことがあるのかもしれない。

(大塚委員)

つまり、定着してきたから、だんだんと絞ってもいいのか。逆にそれだけ新しい方がいらっしゃるんだから、もっとふやさなきゃいけないのか。現状維持でいいのか。どうだろうと思いましたがけれども、どうでしょうか。

(川並総合教育センター副所長)

今のところは現状維持でも、こちら手いっぱいです。会場としても300名を超えると、ホールがやはりきついで、この程度が限界です。これ以上ふやすとなると、回数をもっとふやす形になります。

(大塚委員)

回数をふやす必要があるのか、必要はあったとしても、できるかという両方あると思いますけれども。

(川並総合教育センター副所長)

今のところ、回数をふやすことは考えていません。来年度も3回開催できればと考えています。

(雪村教育長)

今のところは、講演会への申込者のうち抽選で落ちている人は出ていないですか。

(川並総合教育センター副所長)

いらっしやいません。

(雪村教育長)

申し込み数と参加者数の差は、あくまで欠席ということですね。

(川並総合教育センター副所長)

そうです。今まで2年半の実績で、大体8割弱の方が出席されていますので、こんなものだと考えています。

(福田委員)

講演会等の参加者の数じゃなくて、不登校の子供さんの数は小中高まで全て含めるかどうかというのはありますけれども、例えば、神戸市全体で児童に対する比率や不登校者数というのはどれぐらいのレベルですか。

物すごく多いのか、全国平均ぐらいで、きちんと対応していけば改良されていくと考えるかによって、取り組み方がかわってくるかもしれません。

もともと物すごく多いのであれば、やはり基本的に何かもっと今現在の手段を考えないといけないかもしれません。

また、「平均より物すごく少ないです。しかし、これぐらい毎回参加されます。困っておられる家庭等があります。」ということであれば、やはりそこに集中して、何をもっと詰めていけばいいとか、いろいろなアイデアがあると思います。

どれぐらいのレベルなのかがわからないのに、この規模がどうかとは判断できないと思いました。

(林教育次長)

毎年、調査はしています。30日以上欠席者は全て「不登校」といいますけれども、文科省に報告していて、全国の発生割合との比較では、ここ3年は下回っています。中学校がとんとんぐらいですけれども、小学校は少し低いです。小中学校で合わせて1,100名か

ら1,200名ぐらいいます。

そのうちの150名から200名くらいが、保護センターの適応指導教室に通っていますので、残りは学校と関係機関でお世話、あるいは面倒を見ています。こういった方の中から研修に来られるということです。

(大塚委員)

今の説明でいうと、年間で割ればほぼ300人という数字になりますか。1,000人ちょっとで、小学校は比較的少ないでしょうから、中学3年間で割るとその3分の1くらいですね。

(林教育次長)

アンケートの結果を分析する中では、過半数は実際に我が子、我が身内にこういう子供がいて、親として悩んでいるという方ですけれども、中には、ここに来られる講師の先生のお話に共感されて、「自分の子供ではないけれども、身近な友達に不登校の子供がいるのでお話を聞きたい」という方も何割かおられます。リピーターの方は、「去年聞いてお話が非常によかったので」という方がほとんどです。

第2回の講師はことし初めての方でしたので、参加者も多かったです。

(福田委員)

数字をお伺いして多いなと思いました。だからこそ、このテーマの講演会は意味があるのかと思いました。それで、どのぐらいのレベルかを知りたかったということです。そこが基本です。

(林教育次長)

市外の方もおられますね。

(川並総合教育センター副所長)

まれにおられます。こちらからは「市内の方を対象」と言っていますが、来られて拒絶するわけではありませんので、皆さん入ってもらっています。

(福田委員)

この募集はオープンですか。

(川並総合教育センター副所長)

来られた方に「神戸市外在住だからだめ」ということはしていません。一応、対象を「神戸市内」としていますが、実際にはどなたでも来ていただくことができます。

(福田委員)

そのほうがいいと思います。

(雪村教育長)

特によろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

報告事項2については、これで終わりたいと思います。

続いて、主要行事予定について、総務課よりお願いします。

その他報告事項 主要行事予定

(豊永総務課長)

8月23日以降の主要行事については、記載のとおりです。

今後の主要行事予定ですが、9月12日月曜日に文部科学省の「全国的な学力調査に関する専門家会議」に教育長が出席予定です。それから翌日、13日火曜日は、義務教育学校港島学園の視察、16日から21日にかけて運動会、体育会、体育大会があります。それから、27日は友生支援学校の分教室——県立こども病院内にある分教室の視察を予定しています。

それから、定例の教育委員会会議は、9月27日16時からということで、お願いします。

(雪村教育長)

行事予定で、何か質問や補足はありますか。

(森本委員)

1個追加です。事務局にはお知らせしていませんでしたけれども、9月1日に神港高校と、それから神港橋高校と兵庫商業高校の3校の併置がスタートしたので、始業式に訪問しました。

少しお話をすると、始業式は3つの学校一斉にしていないです。まだ取り壊していない大きな体育館で神港高校が始業式を行い、それから神港橋高校の新しい校舎で兵庫商業高校の始業式がありました。直前まで学校計画課の中村首席指導主事が校長先生をされていたので、離任式を兼ねていました。それらが終わってから神港橋高校の始業式を行いました。

そんなことで、3つの学校が、時間を分けて始業式をされて、最初に山下校長先生が放送されましたけれども、三々五々に終わって、子供たちはばらばらに帰っていました。放

送も全部違いました。

入っていくところは1カ所ですけれども、神港坂を子供たちが三々五々に帰って行っていました。先生方は皆そこにいます。当分そんな状態です。

ただ、今の校舎を全て解体しないことには、グラウンドが使えませんので、今はグラウンドなしの学校です。大きな建物が建っていますので、これを解体して広いスペースをつくって、グラウンドとする予定です。

グラウンドが必要なときは、兵庫商業高校のグラウンドを借りたり、それから神港高校の上に浄水場がありますけれども、そこの許可を得てグラウンドを借りたりします。

龍獅団は神港橋高校にもできていますので、2校でやっています。変則的なことが毎日起こっていると思います。そんな状態で9月1日からスタートしました。

(雪村教育長)

ありがとうございました。

そのほか、特に追加や質問はありませんか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

そのほか教育委員の皆さんから教育委員会会議で取り上げるべき項目について、意見はありませんか。何かありましたら、また後日でも結構ですので、事務局までお伝えいただきたいと思います。

それでは、非公開案件に入ります。

傍聴者の方々は、退席をお願いします。

(傍聴者 退席)

(雪村教育長)

それでは、教第29号議案、平成28年度神戸市一般会計補正予算（教育委員会所管分）に関する意見決定の件について、総務課より説明をお願いします。

教第29号議案 平成28年度神戸市一般会計補正予算（教育委員会所管分）に関する意見決定の件

(豊永総務課長)

一般会計補正予算に関する意見決定の件について説明します。

補正予算の内容としては、御影北小学校増改築の債務負担行為として、平成32年度に増

改築を予定している御影北小学校の工事に伴って、仮設校舎の建設が行われます。その施工方法に変更が生じたということで、工事費が増加して、仮設校舎のリース料の総額が当初の見込みを上回るということで、2億800万円の債務負担行為の限度額の増額を行うものです。

説明は以上です。審議をお願いします。

(雪村教育長)

この件について、いかがでしょうか。

(森本委員)

金額が上がったと言っても、かなりの大きな金額だと思います。リース料というのは、急にそんなにふえるものですか。

(豊永総務課長)

工法の変更と申し上げましたが、仮設校舎の構造について当初軽量鉄骨で想定していたのですが、周辺の状況なども踏まえると、重量鉄骨造にしなければいけないということになりました。軽量鉄骨であればある程度工場で作って運んだものを運べたのですが、重量鉄骨になると現場での施工もふえるということで、材料費や施工の費用がふえて、トータルのリース料がふえてしまったということです。

(森本委員)

それが2億800万円ですか。ちょっと200万円というのとは違いますよね。

(豊永総務課長)

大きな増額になります。

(梶木委員)

それは耐震性とか、何かそういう要因ですか。

(豊永総務課長)

耐震とは関係なく、純粹に技術的、施工的な状況から、重量鉄骨にせざるを得なくなったということです。

(梶木委員)

地盤か何かのせいですか。

(豊永総務課長)

まず、工事の部材を運び込むときの進入路の関係で、大きいものが運べなかったということです。要素としては構造自体というよりも、周辺工事の制限の関係でそういうことになってしまったということです。

(森本委員)

御影北小学校はそんなに太い道路に面してないですよ。

(梶木委員)

そういうものは使い回せるのですか。何かもったいないですね。

(豊永総務課長)

基本的にリースです。

(梶木委員)

そうか、リースですね。使い終わったら持って帰るんですね。

(豊永総務課長)

解体後に何かに使うことはあるかもしれませんが、持って帰ることはないです。

(伊東委員)

当初から価格が上がり過ぎているので、東京都でも話題になっていることですし、何かもう少し詳しく説明できるほうがいいと思いました。

(梶木委員)

どれだけ予算を使って、どういうものが建って、何年ぐらいこれを使ってということですね。

(伊東委員)

最初にどうしてわからなかったかであるとかですね。

(豊永総務課長)

当初、予算額の算定の際に「大づかみな概算で」というところがありましたので、現場に入ってみるとこうだったということで、もう少し詳細に調べるべきだったと反省しています。

(雪村教育長)

これは補助が入っていないのですか。全て市単独予算ですか。

「当初わからなかったんですか」とか、「2億もふえるなんて」とか、財政当局から今のようなことは言われなかったですか。

(豊永総務課長)

当然、全体事業費を示した上での財政当局の了解だったので、それが2億ふえるということに関しては十分な説明をして理解していただくしかないと思っています。

(雪村教育長)

今回、補正予算に上げるということは、調整しているのですか。

(豊永総務課長)

はい。

(福田委員)

工事費の当初見積もりのときは、仮設校舎の工事費は入札に入っていないですか。

(豊永総務課長)

入っています。まず仮設校舎の部分だけ今年度発注して、設計も進めていますが、本体工事はまた別途の発注になります。全体事業費としては25億円を想定しています。その中でこの仮設校舎のリース料が増額ということになります。

(梶木委員)

御影北小学校は、児童数がふえていますね。もうおさまりましたか。

(豊永総務課長)

児童の増加対策としての増改築です。校舎を建てるための逃げ場所として、一旦仮設校舎をリースするという形です。

(梶木委員)

1,000人まではいかないですか。卒業式に行ったとき、なかなか長かった印象があります。

(伊東委員)

校長会との懇談のときにも名前が出ていましたね。

(梶木委員)

運動場も、すごく広いわけでもないし、その間の教育環境的には子供たちの遊ぶ場所も確保できないのではないですか。「仮設と言っても最近のはいい」とみなさんがおっしゃいますけれども。

(豊永総務課長)

現状で991人、1,000人弱です。

(梶木委員)

まだふえますか。

(豊永総務課長)

ふえていく見込みです。

(雪村教育長)

人気がある校区みたいですね。

(梶木委員)

そうですね。周辺に児童数が減っている学校もなさそうですし、校区を割ってどうこうというふうにはできないでしょうね。もう一校、北にもありますよね。

(雪村教育長)

ここが過密だから、渦が森小学校へ下のほうから一部の児童があがって行って、それがバス代900円の2分の1補助につながってきました。

(梶木委員)

そこを狙って引っ越してくる人もいるでしょうね。

(雪村教育長)

そうしたら、この件についてよろしいですか。

(6名の賛成により可決)

(雪村教育長)

それでは、市長に対して「上程について異議なし」ということで、意見を返したいと思

います。

(豊永総務課長)

ありがとうございました。

(雪村教育長)

それでは、教育委員会会議はこれで閉会をさせていただきます。

閉会 : 午後 4 時20分